



十三中だより

令和6年6月3日（月） 6月号

校長 吉田 祐一

みずか かんが こうどう 自ら 考え行動できる まえ む 前向きに努力できる こころ たいせつ 心を大切にできる

「ありがとう」と「うれしい」で終わった修学旅行

てんこう しんばい 天候が心配された修学旅行は、3日目、かつらはま さんさく とき きりさめ 桂浜での散策の時に霧雨があつたくらいで、ぜんこうてい てんこう めぐ 全行程が天候に恵まれました。盛りだくさんの取り組みにもかかわらず、180人を超えるしゅうだん こうどう 集団での行動が、ほぼ予定通りに進むことができました。これも参加した皆さんが、この修学旅行を成功させ、楽しいものにしようという思いが強かったからでしょう。いんしょうてき おも で 印象的な思い出をたくさん作ることができたのではないのでしょうか。

わたし かの かか ふた ことば いんしょうてき ひと 私は、タイトルに掲げた二つの言葉が印象的でした。一つは、2日目のレクリエーション後、副主任の木下先生から何度となく出た「ありがとう」の言葉でした。これは、れんじつ おお も さんかしゃぜんいん きかく じっこういいん 連日のレクリエーションを大いに盛りあげた参加者全員、また、それを企画した実行委員のひと たい こころ そこ かんしゃ おも 人たちに対する心の底からの感謝の言葉だったように思います。

二つ目は、さいしゅうび ちようしよく お たいかんしき お がくねんしゅにん つちえ ほつ 最終日の朝食が終わり、退館式を終えてから学年主任の土江先生から発せられた「うれしい」の言葉です。おおさか とお はな こうちけん ち じゅうそうちゅうがっこう てすばらしいな」と言われるような行動を示してくれた3年生に対しての気持ちだったのでしょ。ルールを守り、まも きょうりよく あ たの 協力し合い、楽しい修学旅行にしてあげたい。それに答えた3年生に対して、たい しぜん で 自然と出てきた言葉でした。

この三日間、みつかかん そちから み この三日間、3年生の底力を見せてもらいました。さあ、たいせつ こころいき にちじよう しめ さらにパワーアップした十三中学校にするため、こうはい ひ ば 後輩たちを引っ張っていただきます。

私たちの命を守る行動 備えあれば憂いなし

私たちの生活には、せいかつ さまざま さいがい ひそ よそく ひじよう むずか じしん きしろう 様々な災害が潜んでいます。予測が非常に難しい地震から、気象情報から予測ができるじょうほう よそく たいふう おおあめ ひつよう ほんじつ かさい くんれん 台風や大雨。どれも備えが必要です。本日、火災について訓練をおこな行います。

けん 707件。これは、さくねんど れいわ ねんど おおさかしな い はっせい けんすう 令和5年度（令和5年度）大阪市内で発生した火災件数です。令和4年度と比較してひかく ぞうか ちゅうい ふせ 10%の増加ということです。注意しておけば防ぐことができるはずですが、ざんねん 残念ながらこれだけ発生しています。それゆえ、私たちは様々な対策を講じなければなりません。するべきしよ きかつどう ひなんほうほう くんれん 初期活動、そして避難方法。命を守る行動を訓練しよう。